

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 釧路管内 弟子屈町立弟子屈小学校

### 本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、外部講師や町内施設を活用し、アイヌの人たちの歴史・文化等と地域の歴史とのつながりについて課題を設定し、調べるとともに、学習発表会で学習の成果を発表するなど、探究的に学習しました。

### ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### 単元の目標

アイヌの人たちの歴史・文化等について、地域の歴史とのつながりを調べる活動を通して、先人を含む地域の発展を支えてきた人々の協働性について理解するとともに、地域に継承されている歴史・文化等のよさについて具体的に考え、地域の未来のために行動できるようにする。

#### 取組の様子

##### (1) 課題の設定

社会科で学習した地域に深く関わる人物である「更科源蔵」や「松浦武四郎」の生き方について交流することを通して、アイヌの人たちの歴史・文化等と自地域の歴史とのつながりについて、一人一人が探究的な課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

地域のアイヌ民俗資料館を活用し、体験活動や映像の視聴を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について情報を収集しました。

また、アイヌの人たちの衣服や工芸品に触れるなど、「アイヌ学習トランク」を活用した体験的活動を通して、さらに詳しく調べたいことについて情報を収集しました。



【トソコリを演奏する様子】

##### (3) 整理・分析

1人1台端末を活用し、収集したアイヌの人たちの情報を「歴史」、「道具」、「楽器」等の視点で整理するとともに、地域の歴史と比較することで、アイヌの人たちの歴史・文化等と地域の歴史のつながりや地域に継承されている文化のよさについて理解を深めました。

##### (4) まとめ・表現

学習発表会において、児童が作成したスライドによる発表や劇の発表を通して、地域の発展を支えてきた人々の協働性について理解を深めるとともに、地域の未来に対する願いについて考えることができました。



【劇を発表する様子】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・1人1台端末を活用し、児童一人一人の興味や関心に応じた課題を設定したり、課題の解決に向けて取り組んだりできるよう、活動の複線化を保障しました。
- ・課題について、理解を深めたり考えを広げたりすることができるよう、共通する課題に取り組む児童同士で収集した情報をクラウドで共有し、適宜交流・協議をしました。

### 実践の振り返り

- ・弟子屈町の歴史とアイヌの人たちの歴史・文化等のつながりについて学習することで、地域やアイヌの人たちの歴史・文化等への興味・関心が高まるとともに、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことができました。
- ・総合的な学習の時間を中心に、各教科等との関連や体験活動の充実を図ることにより、児童の学習に対する意欲が高まり、ふるさとに対する愛着や誇りをより一層育むことが期待できます。